

みずほCustomer Desk Report 2024/05/21号(As of 2024/05/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	155.92
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	155.79	1.0872	169.39	1.2706	0.6700
SYD-NY High	156.31	1.0884	169.78	1.2725	0.6708
SYD-NY Low	155.50	1.0854	169.15	1.2675	0.6662
NY 5:00 PM	156.27	1.0857	169.70	1.2706	0.6668
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	39,806.77	▲ 196.82	日本2年債	0.3400%	0.0100%
NASDAQ	16,794.87	108.91	日本10年債	0.9700%	0.0300%
S&P	5,308.13	4.86	米国2年債	4.8510%	0.0253%
日経平均	39,069.68	282.30	米国5年債	4.4688%	0.0229%
TOPIX	2,768.04	22.42	米国10年債	4.4463%	0.0255%
シカゴ日経先物	39,310.00	555.00	独10年債	2.5305%	0.0170%
ロンドンFT	8,424.20	3.94	英10年債	4.1680%	0.0420%
DAX	18,768.96	64.54	豪10年債	4.2340%	0.0240%
ハンセン指数	19,636.22	82.61	USDJPY 1M Vol	8.75%	0.16%
上海総合	3,171.15	17.12	USDJPY 3M Vol	8.60%	0.05%
NY金	2,438.50	21.10	USDJPY 6M Vol	8.97%	0.05%
WTI	79.30	▲ 0.28	USDJPY 1M 25RR	▲ 1.06%	Yen Call Over
CRB指数	295.61	1.86	EURJPY 3M Vol	8.10%	0.04%
ドルインデックス	104.57	0.12	EURJPY 6M Vol	8.53%	0.03%

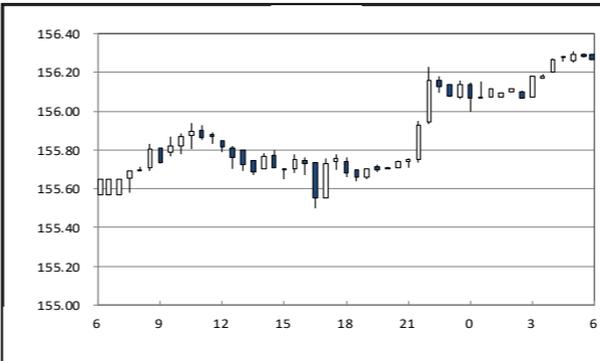
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月20日	23:30	米 ジェファーソンFRB副議長 講演		「インフレが2%に回帰しつつあるとは断言できない」
5月21日	03:00	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演		「年内3回の利下げが適切だとは思わない」

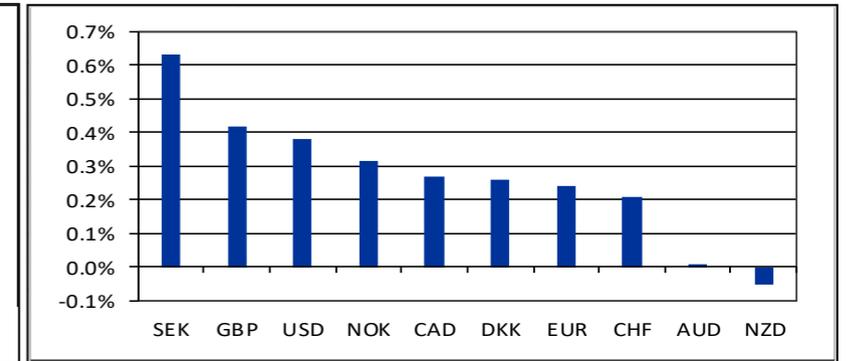
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月21日	09:30	豪 ウェストバンク消費者信頼感指数	5月 -	82.4
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	4月 0.3%/-3.1%	0.2%/-2.9%
	17:00	欧 ラガルド総裁 講演	-	-
	21:30	米 フィラデルフィア連銀非製造業活動	5月 -	-12.4
	22:00	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	22:00	米 ウォラーFRB理事 講演	-	-
	22:05	米 ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.00-157.00	1.0800-1.0900	169.00-171.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は155.79レベルでオープン。日経平均株価の上昇や五・十日に伴う実需のドル買いに156円台手前まで上昇もその後は小反落。円金利上昇もあり155円台半ばから後半での推移が続いた。NY時間に入りFED高官のタカ派発言に米金利が上昇し156円に乗せると、156.31まで上値を伸ばした。結局156.27レベルでクローズした。先週発表された米4月CPIを経てなお大半のFRB高官は早期の利下げを牽制するタカ派な姿勢を見せており、ドル円の底堅さをサポート。円の地合いの弱さに変化がない以上、ドル円は底堅い推移が基本線か。本日もFRBのウォラー理事を始め複数のFRB高官発言が予定されており、タカ派スタンスを維持するかに注目したい。

東京	東京時間のドル円は155.79レベルでオープン。日経平均株価の上昇や五・十日に伴う実需のドル買いに155.94まで上昇。ただ156円を前に155.65まで小反落。その後は徐々に値を戻し155.77レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、155.77レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局オープンと同レベルの155.75レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台半ばでスタート。五・十日に伴った買いが先行し、155.94まで上昇。しかし、その後は米金利が低下する動きが上値を抑え、155.75レベルでNYオープン。朝方は低下していた米金利が上昇する展開を横目に、ドル買いが再び優勢となり、156円台に乗せ、156.20付近まで上昇。その後、ジェファーソンFRB副議長が「インフレがFRBの2%目標に持続的に回帰しつつあるとは断言できない」と今後の利下げ観測を巡って慎重な姿勢を見せるも、特段大きなドル買いには繋がらず、156.10付近を挟んだ方向感乏しい推移が続く。午後はメスター・クリーブランド連銀総裁の「現在の経済状況を踏まえると、年内に3回の利下げが適切だとは思わない」等の発言が伝わると、156.31まで上値を伸ばし、156.27レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。1.0884まで上昇する場面もあったが、独金利が低下する動きが重しとなり、1.0861レベルでNYオープン。本日は日中を通じて手がかり材料が乏しい中、1.0854から1.0870の間での狭いレンジ推移が終始続き、1.0857レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。